

授業科目名： 知的障害児・者への支援	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：西永 堅 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>本科目は、知的障害がある児童生徒に対して具体的な支援方法を学修する科目である。</p> <p>D.多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星桂の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につける科目であるとともに、問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持たせ、共感理解教育の理念を認識し、実践する力を養うものである。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) 知的障害児・者の支援方法として、応用行動分析の原理を理解する。</p> <p>(2) 教育課程の編成を説明できる。</p> <p>(3) 具体的な個別の指導計画の作成できる。</p> <p>(4) 応用行動分析は、けっして問題行動だけに有効なのではなく、言葉の発達、認知発達、教科学習においても有効であることを理解する。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>そもそも支援とは何であろうか？ニーズにある方や子どもに対して、やみくもに援助したり介助したりすることが本来の支援ではなく、本人主体であり、かつ、長期的な視点をもった系統立てた支援が重要になるであろう。本授業では心理学の一体系である行動分析学の中で、発達障害等のニーズがある子ども・人たちの支援を研究してきた応用行動分析（ABA）の原理を用いた支援方法を学習したい。その中で、個別の指導計画の作成、ならびに、個別の教育支援計画の作成等、知的障害児・者を対象としたカリキュラム・教育課程の編成を学ぶ。</p> <p>応用行動分析とは、現在と過去の環境と個人との相互作用のあり方を中心に科学的証拠をもとに進めていく考え方(エビデンス・ベースド・アプローチ)である。そして、応用行動分析では、子どもたちの行動の直接的な原因を障害によるものとして考えるのではなく、その行動が起きる直前と直後の働きかけを分析することによって、好ましくない行動は減少させ、好ましい行動は増加することを目指している。つまり、ADHD と診断された子どもが、授業中高頻度で離席行動をするとき、その直接的な原因を ADHD だからとするのではなく、離席行動の直前・直後の環境に着目するのである。なぜならば、ADHD と診断された子どもは、かならずどの時間でも同頻度に離席行動が起こることはないからである。このように障害を直接な原因としない応用行動分析的アプローチは、どのような障害に対しても、また障害以外に対しても適応できるユニバーサルな原理であることを理解していただきたい。</p> <p>応用行動分析学は非常に誤解されていることが多い。たとえば、応用行動分析学は、問題行動を減らすときに使われるための行動療法である、罰を容認しているなどである。この授業を通して、正しい理解を促していくことがこの授業の目的・ねらいである。</p> <p>ABC 分析を理解することによって、応用行動分析の原理を学び、それを子どもたちの発達の支援に活かしていく。具体的には、問題行動を減らそうとするのではなく、問題行動の代わりとなる適切な行動を増やしていける指導計画を作成できるように学修していく。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：発達障害や認知発達について：知的障害を含む発達障害とは</p> <p>第2回：発達障害や認知発達について：認知発達とは</p> <p>第3回：さまざまなスキルについて：スキルとは</p>			

第4回：さまざまなスキルについて：ソーシャルスキルとは
第5回：さまざまなスキルについて：コミュニケーションスキルとは
第6回：さまざまなスキルについて：アカデミックスキルとは
第7回：応用行動分析の視点を学ぶ：行動とは
第8回：応用行動分析の視点を学ぶ：個人と環境の相互作用とは
第9回：応用行動分析の視点を学ぶ：ABC分析とは
第10回：応用行動分析の視点を学ぶ：ポータープログラムとは
第11回：応用行動分析の視点を学ぶ：問題行動への対処法
第12回：個別の指導計画の作成
第13回：教育課程の編成
第14回：ソーシャルスキルトレーニング
第15回：読み、書き、計算への応用行動分析のアプローチ
定期試験

教科書

- (1) 西永堅(2021)『子どもの発達障害とソーシャルスキルトレーニングのコツがわかる本』ソシム
- (2) 文部科学省『特別支援学校幼稚部教育要領・小学部・中学部学習指導要領』

参考文献

- (1) 山本 淳一・池田 聡子『応用行動分析で特別支援教育が変わる』図書文化社 2005 年
- (2) 杉山 尚子、島宗理、佐藤方哉、リチャード・W・マロット、アリア・E・マロット（1998）『行動分析学入門』産業図書
- (3) 杉山 尚子（2005）『行動分析学入門』集英社新書

学生に対する評価

レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。